

# 市政最前線

今月から、毎月上旬号のこの欄で、市政が直面する課題や事業の経過・対応などを紹介していきます。

## 災害対策を強化

昨年九月の大雨で、市内の北部地域を中心に、浸水が発生するなどの被害が発生しました。市では、このことを貴重な教訓とし、さまざまな災害対策を講じていきます。平成十三年度の当初予算でも、気象・雨量などに関する情報を素早くみなさんに伝達できる総合防災システムの構築や雨水災害への対策に向け、次の三つの事業を盛り込みました。

### 土砂災害情報相互通報システム

三重県では、土砂災害が予



引き続き整備が進む米洗川

測される地域として、土石流危険渓流区域「地すべり危険箇所」「急傾斜地崩壊危険箇所」を指定するなどしています。この事業では、対象地域にお住まいの世帯に市が雨量情報を提供したり、市に現地の状況を知らせていただいたりすることで、警戒や避難・誘導を円滑に行なうことを目的としています。

担当：河川課

(☎54・8217)

### テレメータシステムの更新

雨量や水位の変化を監視

予算化された新たな事業

事業の途中経過

特集のその後

し、水害に対する活動をより的確に行なうため、自動測定装置を現在の雨量局二カ所・水位局四カ所から、雨量局六カ所・水位局十一カ所に増設します。また、気象情報などを各地区市民センターをはじめ、市の各部署に配信する準備を進めます。

担当：防災対策課

(☎54・8119)

### 総合的な治水対策の推進

台風や集中豪雨などによる水害に対処するため、河川や下水道の整備を行います。河川では、

十四川上流で洪水調整機能を調査

米洗川の護岸をかさ上げ(白須賀町)するとともに上流を暗きよ(化垂坂町)ほか

担当：河川課

(☎54・8217)

下水道では

兩池都市下水路の基本計画を見直すとともに幹線に水計を設置

富田富洲原雨水一号幹線を整備(下之宮町)

朝日町ポンプ場に水中ポンプを設置(西末広町)ほか

担当：下水管理課

(☎54・8220)

あなたの  
**こえ 声 こ**  
**広聴のコーナー**

ご意見・ご提案をお寄せください

あて先は  
〒510-8601 市役所市民生活課 広聴係  
TEL54-8147 FAX59-0284  
四日市市公式ホームページ  
<http://www.city.yokkaichi.mie.jp>  
「市政への提案箱」へ  
〔住所・名前を明記してください〕

今回は、インターネット・ホームページ「市政への提案箱」にお寄せいただいたご意見・ご質問の中から抜粋・要約したものを掲載させていただきます。

## 今年度インターネットで公開する予定です

保育園の情報をホームページに載せてほしい

### ご要望

現在、愛知県に住んでおり、勤務地も愛知県内です。

四日市市に引っ越そうと思

っています。家を探す際に最も気になるのが、通勤に都合のいい所に保育園があるかどうかということ、その保育時間です。

勤務の関係で平日に四日市市役所に行くことができないので、市のホームページに保育園の一覧を載せてもらいたいです。

各保育園の建物の外観や基

### 市から

本方針なども併せて紹介していただくと、四日市市に転勤で来る人にとっても事前に情報を得ることができて、大変便利だと思えます。

保育園の情報ははじめ、子育てに関する情報をみなさんに提供することは非常に重要であると考えています。

市では、子どもを安心して「生み」育てることができるよう、地域社会や行政など社会全体で子育てを支援する環境づくりを進めています。

## 市民がつくる市民活動ファンド

市民活動を支援する目的で発足した「四日市市民活動ファンド」。1月13日には、なや学習センターの音楽室で、市民活動ファンドの助成を受けた団体による初めての報告会が開催されました。ここでは市民活動のためにファンドの助成はどうあるべきかについて、多くの市民とファンド運営委員とが意見交換を行いました。

「ぶことができた」「ポスターを作成し、PRすることができた」など、助成を評価する発言がありました。

こうした直接的な効果以外にも、マスコミに取り上げられることが増え、地域の人の見聞が変わった「市民活動センターをはじめ、行政を通じてPRがやりやすくなった」という声もありました。

これとは逆に、助成がどういう事業を対象に行なわれるのかよくわからない「助成申請書を書いて出すのが大変だ」「もっと身近なものにしてほしい」など、要望も出されました。

また、約一千万円という資金を基に助成を行っているため、このままでは三〜四年で助成が終了となることについて、もらった助成金をどう使うかとお考えいただけだったが、市民のファンドとして（運営者側の立場で）考えるよ



市民活動ファンド報告会の様子

うになった「団体が自立できるようにになったら、受けた助成金を返すようにしてはどうか」という意見が出されました。

そのほか、参加した運営委員からは、助成する側が考えている助成対象事業と四日市の市民活動団体の現状との間にギャップがあることがわかった「助成申請に対して心理的抵抗（困難さ）を抱いている市民活動団体があることを理解できた」などの感想も寄せられました。

参加者たちは最後に、「市民活動ファンド」がより良いものとなるよう、ここでの意見を参考にしながら検討していくこと、また、今後市民がつくっていく助成制度として、意見交換を続けていくことの大切さを確認しあって、報告会を終了しました。

このコーナーやNPOに関する問い合わせ先：市民活動センター（蔵町四・十七） ☎ 50・0201 Eメールアドレス center@npo.city.yokkaichi.niejp)

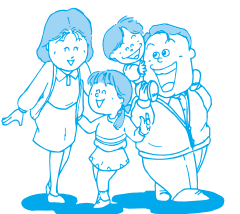
「ご要望いただいている保育園の情報については、市民活動団体との協働作成の子育て情報誌の中でご紹介していきます。また、今年度には保育園情報を含めた子育て支援情報を市のホームページに公開するため、現在準備を進めています。今しばらくお待ちください。

そのほか、国においても保育等子育て支援サービス総合

情報システム（i・子育てネット）が整備され、全国の保育園情報（i・子育てページ）に順次公開される予定です。

アドレスは <http://www.i-kosodate.net/> です。

児童福祉課（市役所3階） ☎ 54・8173



### 選挙の掲示板に木材を使用しないでほしい

### 四日市市は再利用可能なアルミ製を使用しています

全国的に選挙の掲示板には熱帯材合板が使用され、使い捨てにされています。

### ご質問

森林破壊を防ぐため、木材の使用を少しでも抑えることが必要ですが、四日市市では掲示板はどのように処理していますか。

全国的に選挙の掲示板には熱帯材合板が使用され、使い捨てにされています。かつてはベニア板を使用していました。が、ご意見にありまして、平成十二年六月二十五日の衆議院議員選挙・参議院議員補欠選挙から、再利用可能なアルミ製の掲示板に変更しました。

### 市から

市では、一つの選挙で約四百二十枚（定数の多い県議会議員選挙や市議会議員選挙では、それぞれ約八百四十枚、約三千七百八十枚）の掲示物を準備しています。

なお、このアルミ製の掲示板は、業者を通じて再利用されていますので、ご理解をお願いします。

選挙管理委員会事務局（市役所8階） ☎ 54・8269

「広報文芸」は三月上旬号で終了しました。長らくのご投稿・ご愛読いただき、ありがとうございました。